

市内民間事業者による資源回収量の調査結果（令和 5 年度実績）について

◎調査について

岩倉市における資源化率（※）は近年下がる傾向にあり、これは民間での自主回収の実施や回収拠点の設置が進んでいることが主な要因として考えられる。実際の市民からの資源排出量は市で把握している数量（公共分）よりも多いことが推測され、平成 29 年度から市内の民間事業者の協力を得ながら資源回収量の調査を実施している。なお、民間事業者が回収する資源には、岩倉市以外の住民のものや事業者から出されたものも混ざっていると思われるため、得られた数値については資源化率の算出には用いず、参考値として取り扱うものとしている。

※資源化率：（収集資源物＋集団回収量）／（収集ごみ量＋収集資源物＋集団回収量）

①令和 5 年度の資源回収量（公共分） 資源化率 19.92%

（単位：kg）

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R5 年度回収量	235,620	239,026	165,330	87,110	54,270	26,226	35,476	169,031	8,448	1,020,537
R4 年度回収量	280,490	266,945	178,175	106,610	54,530	21,566	34,824	179,176	9,563	1,131,879

②令和 5 年度の市内民間事業者による資源回収量調査数値

（単位：kg）

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R5 年度回収量	367,091	330,827	499,006	98,672	66,123	37,984	500	0	12,633	1,412,836
R4 年度回収量	407,370	351,952	500,037	52,720	67,804	31,322	500	0	11,307	1,423,012

③公共分と調査数値を合わせた回収量（ ① ＋ ② ）

（単位：kg）

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
R5 年度回収量	602,711	569,853	664,336	185,782	120,393	64,210	35,976	169,031	21,081	2,433,373
R4 年度回収量	687,860	618,897	678,212	159,330	122,334	52,888	35,324	179,176	20,870	2,554,891

④平成 18 年度の資源回収量（公共分） 資源化率 31.34%（平成 18 年度は資源化率が最も高かった年度）

（単位：kg）

	新聞	雑誌・雑がみ	段ボール	古着	ペットボトル	アルミ缶	スチール缶	びん類	牛乳パック	計
18 年度回収量	1,625,665	738,565	399,260	191,630	65,070	43,037	61,530	287,907	20,357	3,433,021

⑤市内民間事業者による資源回収量調査数値を含めた場合の資源化率（参考値）

	資源化率
R5 年度	30.75%
R4 年度	30.86%

※なお、第 5 次岩倉市一般廃棄物処理計画（2019（令和元）年度～2028（令和 10）年度）資源化目標については、資源化率（公共分）20.83%を目指すこととしている。

【留意事項】

- ③の回収量が④の回収量よりも減少しているのは、新聞・雑誌等の紙媒体の減少や容器類の軽量化（びんからペットボトルへの変更等）などが要因として考えられる。
- 公共分のみの比較では年々低下しているように見える資源化率については、民間の資源回収量の調査数値を含めて算出すると 30%を超え、市民全体としての資源排出の状況は、平成 18 年度から大きな変化がないことが推測される。